プロフィール

生年月日

- 昭和６０年８月２８日、
  川崎市宮前区初山生まれ（２９歳）

学歴

- 平成１０年 川崎市立菅生小学校　卒業
- 平成１３年 川崎市立菅生中学校　卒業
- 平成１６年 法政大学第二高等学校　卒業
- 平成２０年 法政大学 情報科学部コンピュータ科学科 卒業

職歴

- 平成２０年４月 伊藤忠テクノソリューションズ（株）入社
- 平成２６年７月 伊藤忠テクノソリューションズ（株）退社
- 自由民主党 川崎市支部連合会　青年局次長

趣味

- 剣道（中学～現在）、空手（小学６年生まで）

後援会事務所

〒２１６-００２６　川崎市宮前区初山１-２０-１２
TEL.　０４４-９７６-２７２７
FAX.　０４４-９７６-８６８６
Mail.　takao.y4208@gmail.com

一人一人が助け合い、みんなが愛せる地元を目指して

ご挨拶

こんにちは。矢沢たかおと申します。
私はこの川崎市宮前区で生まれ育ち、大学卒業後は進化の早いIT分野への可能性とグローバル環境で仕事ができることに魅力を感じ、商社系IT企業に入社致しました。
最前線で社内外をまとめる法人営業として、お客様との信頼関係を何よりも大切にし、多くの関連するメンバーと共通の目的意識を以て仕事を進めていく中で、多くの失敗を経験しました。その度に、どんなに技術が進化していったとしても、きちんと人と人とが向き合って関係を築いていくということが一番大事だということだと教えられました。”謙虚に、丁寧に、前向きに”を信条に、企業勤めで得た民間目線と行動力を十二分に活かし、みなさま一人一人の声を市政に反映させ、生まれ育ったこの地を更に魅力あるまちに出来るよう、課題解決に取り組んでまいります。

矢沢たかお

“矢沢たかお”の考える４つの政策

1　子供を産み、育てることを安心して行えるまちづくり

出生数から死亡数を引いた「自然増」で川崎市は全国最多となりました。保育・教育環境の充実含め、子育て世代のお父さん、お母さんが安心して子どもを預けられる環境整備を進めます。

2　支援体制充実を進め、お年寄りや障害者が安心して暮らせるまちづくり

支援制度含め、お年寄りや障害者が元気に地域で活躍できる環境整備を進めます。人口が増え続けている川崎市も高齢社会です。地域コミュニティの活性化を推進する事が必要だと考えています。

3　交通網の充実と地域防災力の強化を進め、便利で安心して暮らせるまちづくり

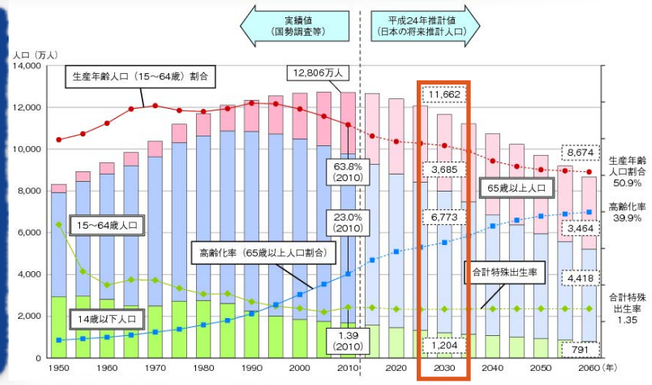
丘陵地や、坂道が多いことなどの地形上の特性がある宮前区では公共設備へのアクセスが課題の一つとなっています。住民の利便性と緊急時の対応に重点をおいた交通網の充実を進めていきます。

4　地域の文化・歴史を大切にし、自分のまちに愛情と誇りが持てるまちづくり

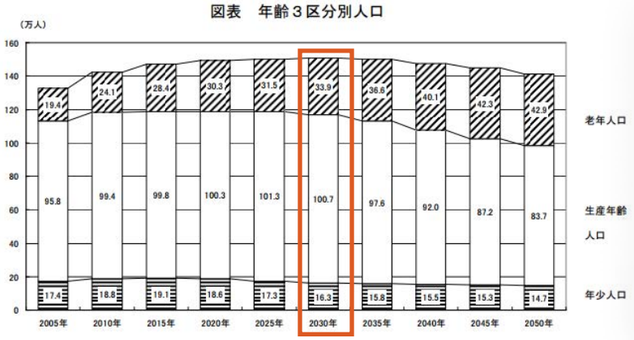
地域文化をもっと多く発信し、子どもからお年寄りまでが一丸となって文化・歴史を育み、受け継いでいける仕組みづくりを進めます。

いまを認識する [No.1] ～人口推移～

現在、直面している少子高齢化問題。
言葉はいつもお聞きしているかと思いますが具体的な予測数字はご存知でしょうか。
国立社会保障・人口問題研究所出典の右図。予測幅の小さい事象と言われている人口推移ですが、2010年で12,806万人いた人口は、2030年には11,662万人(高齢化率約31.2%)、2060年には8,674万人(高齢化率約40%)となり綺麗な逆三角形時代となると言われています。



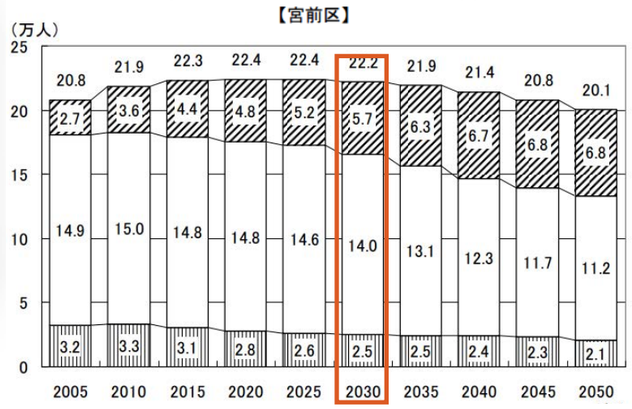
図表　年齢３区分別人口



注：平成 17(2005)年は実績値。

一方、全国的な視点とは事情が異なっているのが、私たちが住んでいる川崎市です。平成22年の川崎市総合企画局によると、左図グラフのとおり、2030年まで人口が増え続け、ピークで150.8万人と言われています。高齢化率も2010年で約17%、2030年で約22.5%、2050年で約30.3%となる予測がされています。川崎は人口が少なくなっていく我が国においても、未だに人口が増え続けている都市だと言う事がわかります。

では宮前区はどうでしょうか。2030年まではほぼ横ばいとなり、生産労働人口は減り、高齢化率は上昇し、2004年までは7区のうちで最も低かった高齢化率が、2013年には市内で4番目に高い約18%、2030年には、2番目に高い約25.7%になるとされています。2014年に生まれた子供が16歳になるころには宮前区も超高齢化、人口減少区域になるということです。



出典：平成22年 川崎市総合企画局
第３期実行計画の策定に向けた 将来人口推計

こうした将来が予測される中で、川崎市には検討し解決していかなくてはならない課題が多くあります。私は宮前区で生まれ育ちました。”10年後”、”30年後”の社会を一番考えなくてはならないのは私たちです。地元・宮前区を中心に若い世代がもっと地域に関心と責任を持ち、皆様と一緒に課題解決に向けて進める社会になるよう努めていきたいと考えています。

私たちのまち、宮前区について

1 川崎７区の中で最も子供が多いまち！！

高齢化率が高まっている宮前区ですが、０歳から１４歳の人口が７区のうち最も多く、転入含めファミリーで暮らす人の割合が高いまちです
また、都心等に通勤・通学している区民が多く、昼夜間人口比率が市内で最も低いのも特徴の一つです。

→夫婦共働きが多くなっている現代の家庭、安心して子供を預けられる環境を更に整えていく必要があります。

2 全国第２位！！お年寄りが元気なまち

平成２２年の市区町村別平均寿命において、男性の平均寿命が８２.１歳と全国第２位となりました。
宮前区は高齢者の中で要支援・要介護認定を受けている人の割合が市内で最も低く、元気な高齢者が多いまちです。

→地域コミュニティを活性化させ、健康づくりの推進と、単身世帯増加などの課題に対応する必要があります。

3 公園や緑の豊か！自然環境が充実しているまち！！

生田緑地や菅生緑地、東高根森林公園などの自然環境に恵まれ、農地も多く、たくさんの野菜や果物等が栽培されています。自然を大切にするという気持ちがしっかりあり、とんもり谷戸ではホタルを見ることもできます。
平成２５年度市民アンケートでは、生活環境満足度1位には「公園や緑の豊かさ（76.9%）」が挙げられました。

→自然環境が充実している一方、交通網の充実と地域防災力を更に高めていく必要があります。

4 多くの歴史と伝統文化があるまち！！

区内には、国の重要文化財に指定された「薬師寺三尊像」のある影向寺や、市の重要歴史記念物「木造薬師如来坐像」のある等覚院や、東高根、馬絹古墳など多くの文化財・史跡があります。私が生まれ育った宮前区初山にも神奈川県無形民俗文化財に指定された「初山獅子舞」があります。

→転入の多い宮前区、もっと多くの方に地域の歴史や伝統文化に触れていただき、育み、受け継いでいく必要があります。